

ウクライナ侵略やめろ 各地でロシアの無法糾弾



キエフにいる両親と電話で安否確認するウクライナの人も参加!! 1日、生駒駅

声あげ、行動し、連帯しよう

この緊急の呼びかけに応じた生駒市民有志の参加者ら50人が、「ウクライナ侵略を断固糾弾する」「ロシアは直ちに軍事作戦をやめよ」との横断幕を掲げ、「平和と人権を踏みにじる行動は絶対許せません」「プーチンは手を引け」のロシア非難のビラを配り、「ロシアはウクライナへの敵対行為をやめ、対話と外交による解決を」と訴えました。

2月24日、ロシアが隣国ウクライナに軍を侵入させ、ウクライナ各地をはげしく攻撃。子どもからお年寄りまで多くの一般市民の人命が奪われています。

ロシアのウクライナ侵攻に抗議し、ロシアは直ちに軍事作戦を中止せよと治安維持法共同代表の溝川悠介本部顧問で奈良1区市民連合共同代表の溝川悠介氏がSNSで市民に呼びかけ、3月1日、近鉄生駒駅前で緊急市民集会が開かれました。



奈良県版

No. 350
2022年3月15日

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
奈良県本部

〒631-0033

奈良市あやめ池南1-9-27
加藤宜之気付

☎ 0742-43-0762

振替 0990-2-209460

治安維持法賠償同盟
奈良県本部

われわれの運動の基本

- 一、治安維持法体制の復活に反対する
- 二、国は、治安維持法が人道に反する悪法であつたことを認めること
- 三、国は、治安維持法犠牲者に賠償を行うこと

第40回全国大会めざし奈良で100人の同盟員拡大を

特別期間(3月1日～6月30日)

みんなの力で成功を

1月30日の同盟中央本部三役会議において、6月12、13日に開催予定の第40回全国大会の成功をめざし、3月1日から6月30日までを「2万人の同盟実現特別期間」に設定、奈良県では会員拡大目標を100名とした、全都道府県・支部に目標達成を呼びかけました。

また1月1日から6月30日までに会員5人以上、10人以上拡大した会員や支部に新たに顕彰措置を講じることが決められました。

奈良県でも9月に予定している「わが青春尽きるともー伊藤千代子の生涯」の上映運動や治安維持法国賠同盟が1974年以来、毎年続いている「再び戦争と暗黒政治を許さない、治安維持法犠牲者らに謝罪

と賠償」の国会請願署名と結合して、多くの会員、支部が5人、10人の顕彰基準を突破し、県同盟100名の会員拡大目標を達成し、このたび延期されている5月開催予定の県本部総会と6月の第40回全国大会とともに成功させましょう

憲法改悪を許さない 全国署名の推進を

岸田政権は、昨年の総選挙で改憲発議に必要な3分の2の議席を得ました。中国における「台湾有事」や北朝鮮の「ミサイル発射」などの「緊急事態」を口実に、違憲の「敵基地攻撃能力の保有」を唱え、軍事費を歴代内閣すら踏み出さなかつた対GDP比1%以内の原則を破ろうとしています。さらに岸田内閣は、自民党「改憲4項目」案をベースに憲法改悪の策動を強め、2月

3日に開かれた衆院憲法審査会では、憲法の個々の条文の解釈を多数議席で条文を確定させようとしています。憲法審査会で憲法条文の解釈権を持つかのようにふるまうのは、明らかに越権行為です。憲法審査会で憲法56条1項の解釈を多数で確定することはできません。

私たち県同盟は、2月の理事会で国会が改憲の発議をすることを許さず、現行憲法を活かして、再び戦争と暗黒政治を許さないための全国署名を推進していくことを決めました。「国賠署名」「旧奈良監獄を高級ホテルに改造しないでください署名」、そし

て「憲法改悪を許さない全国署名」の3つの署名を結合し、5月開催予定の同盟県本部総会および6月開催予定の全国大会に向け、旺盛に署名活動を推進していきます。

治安維持法による弾圧犠牲者への国家賠償法の制定を求める署名を携えて国会議員に要請行動をおこなう今年の国会請願は5月に予定されています。治安維持法

今年の国会請願は5月予定

黄色の用紙に5筆、10筆と



国賠同盟は、歴史の真実を明らかにし、治安維持法の犠牲者への謝罪と賠償を求め、毎年粘り強く署名を集め、国会請願をおこなっています。

署名活動は、国民へ直接働きかける基本的な活動であり、私たちの運動を国民的運動に発展させる運動であります。



黄色の国賠署名は、昨年10月に会費納入のお願いの封筒に同封させていただいており、その用紙を活用して所属団体のみなさんをはじめ、ご家族やお知り合いの方々に、ぜひ一人ひとりが5筆、10筆の国賠

署名数・会員数の到達

(三月一日現在)

団体署名 二四(前月比増減なし)

個人署名 六七三(前月比増減なし)

会員数 四〇九名(前月比二名減少)

旧奈良監獄署名 三五一

(前月比増減なし)



いいたします。
いま奈良県実行委員会が集めている上
映債権は2口、現在25万5千円で、全国の
上映債権の到達は1月31日現在、493
口で、奈良は非常に遅れています。
上映に責任を持つ実行委員会の基幹団
体である国賠同盟が多くの団体、個人に呼
びかけ、早急に上映債権を3口以上獲得で
きるよう同盟員のみなさんのご協力をお願
いいたします。

上映期間は上映対象会場が6か月前の
予約抽選となつており、最速の開催でも9
月初旬で、そのうえ、参議院選挙期間中の
6月から7月の上映は避けてほしいとの声
から第二次期間中の9月以降に定員30
0人の奈良市のならまちセンターと大和郡
山市の城ホールなど午前、午後の2回の上
映、可能であれば中南和地域あと1か所
開催すること決めました。

上映債権を一口でも多く

奈良・長谷川テル顕彰の会(会長・宮城恭子氏)は、治安維持法犠牲者である長谷川テルの顕彰事業の一環として、彫刻家の坂口紀代美さん(一般社団法人坂口紀代美記念館理事長)に依頼して古刹般若寺境内に「長谷川テル訪問記念の碑」を建立するための200万円の募金目標を掲げ、広く一般の方にも募金の協力を呼びかけ
ています。

建立のための募金を!



記念碑募金の振込先
ゆうちょ銀行 00920-4-212963
加入者名: 奈良・長谷川テル顕彰の会

長谷川テル顕彰の会は、長谷川テルが社会進歩、反戦平和のため生涯を捧げる決意を固めた記念すべき般若寺境内に今年中に「長谷川テル訪問記念の碑」を建立するため、皆さんに募金のご協力をお願いするもので

長谷川テル顕彰の会は、長谷川テルが社会進歩、反戦平和のため生涯を捧げる決意を固めた記念すべき般若寺境内に今年中に「長谷川テル訪問記念の碑」を建立され、手厚く葬られています。

場所と規模、会計と宣伝の役割分担などを論議しました。

映画「わが青春つきるとも——伊藤千代子の生涯」上映実行委開く

急がれる上映債権の拡大



県内上映は9月以降に

2月24日、映画「わが青春つきるとも——伊藤千代子の生涯」の第2回上映実行委員会が奈良市内で開催されました。

この間、全国的には製作・上映活動が具動促進のための講演会を催しましたが、その後の製作・上映運動はあまり進んでいませんでした。

この間、全国的には製作・上映活動が具體化され、44都道府県で実行委員会がた

作者で国賠同盟中央本部顧問の藤田廣登さんを招いての奈良県実行委員会たちあげてからすでに半年間経過し、この間、奈良県実行委員会では元前進座の、この映画にも出演する嵐圭史さん招き、製作・上映運動促進のための講演会を催しましたが、その後の製作・上映運動はあまり進んでいませんでした。

全国的には4月から上映始まる

15日からの上映開始にむけ、上映債権73口、上映日時決定20か所以上の長野県をはじめ、東京、千葉、大阪、北海道などでは網の目上映運動を展開しています。

奈良では2回の上映を計画

このような状況のなか、宮城恭子奈良県実行委員長のもと集まった国賠同盟、新婦人、平和委員会、革新懇、演劇鑑賞会、奈良シネマクラブ、日本共産党などで構成される実行委員でこの映画の上映時期、上映

1989年5月8日第三種郵便物認可 2022年3月15日「不届」NO 573付録

県本部会長を退任するにあたってのご挨拶



田辺 実

2月14日に開いた県本部理事会で、加藤宣之氏に同盟奈良県本部会長代行に就任してもらうことを確認していました。

加藤宣之氏は、これまで県本部事務局長として、会長である私、田辺を支え、一緒に活動を推進してもらいました。

今後は加藤宣之氏を中心に県本部の活動を推進していただくようお願いいたします。

田辺にとって、今年は7度目の干支です。国賠同盟の活動は地味ではありますが、「再び戦争と暗黒政治をゆるさない」国民運動にとって欠かせない役割を担っており、命ある限り携わっていきたいと考えています。しかし84歳になって、これまでのように県本部会長として活動を続けることが難しくなっており、次期総会を待たず、会長代行を加藤宣之氏にお願いした次第です。

私、田辺は2008年10月3日の第22回県本部総会で会長に選出されて以来14年間、この間、一緒に活動してきた事務局長の加藤宣之氏をはじめ、県本部役員の皆さんの協力のもと、県同盟の活動を進めて参りました。当時会員数は165名でしたが、現在は400名を超える県同盟に前進することが出来ました。

また「奈良県の治安維持法犠牲者名簿」や「奈良刑務所物語—治安維持法で囚われた人々」の刊行など、治安維持法犠牲者の実態の調査や顕彰活動にも力を注いで参りました。

これらの成果は、先輩諸氏が残してくれた蓄積の上に、調査部の皆さんをはじめ、多くの人のご協力によって成し遂げることが出来たと考えます。

私は、今後も国賠同盟員として力の限り、活動を進める決意です。加藤宣之氏に会長代行就任をおねがいするにあたってのご挨拶とさせていただきます。

2月20日、日本共産党大門みきし参議院議員との国政懇談会が奈良市内で開催されました。この集会に先立ち、大門みきし参議院議員は、旧奈良監獄の保存運動を展開している著名な作家の寮美千子さんと懇談しました。



寮美千子さん(右)と大門美樹志参議院議員、左は山村幸穂県会議員

**県同盟財政確立へ
3月末までに会費納入を**

治安維持法国賠同盟奈良県本部では昨年10月に2021年度分の会費100%納入をめざし、各支部による徴収とそれ以外の会員には郵便振込での協力をお願いいたしました。

その結果、1月31日現在、約70%の会員が未納になりましたが、あと約120人の会員が未納になっており、会計年度末の3

寮美千子さんは、旧奈良監獄は2017年に国の重要文化財に指定されましたが、法務省が民間企業体に委託した星野リゾートが、高級ホテルに改造されようとしており、治安維持法下での弾圧の歴史を語る史料館として残すよう要望しました。

寮美千子さん 大門みきし参議院議員に要望

月31日までの会費納入をお願いし、それぞれの年会費額を記載した郵便為替を全員に郵送しました。

昨年度最終の会費納入率は89%でありましたが、今年はさらに90%以上の会費納入が達成できるように一層の努力が求められています。

**岩田ミエ子さん
訃報**

元国賠同盟奈良県本部副会長の岩田良孝氏の夫人。86歳

県同盟の初期時代から夫婦会員として活動。2月6日没

坂口 勝さん

大和高田市で法律事務所を開設し、県同盟の創設期には県本部の役員として平和と人権を守る活動に貢献。81歳

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

国賠同盟奈良県本部**事務所を探しています！**

今まで治安維持法国賠同盟奈良県本部の事務所は田辺会長宅になっていましたが、2月1日から奈良市あやめ池南一一九一二七の加藤宣之会長代行宅に移行しました。

事務所は、どんな組織にとっても活動の場であり、その組織の皆でもあります。

事務所は対外的にも、組織的にも会を代表する場所であり、会議の開催、活動記録の保存や各種の通信や機関紙「不届」の配達実務ができる機能が求められます。

そこで、この機関紙「不届」をお読みになつた方、全ての皆様に県本部の新事務所探索のご協力をお願いするものです。

条件として新事務所は奈良市内、家賃5万円まで、他団体が入っている雑居ビルでも可です。連絡は携帯電話090-4765-3801 加藤宣之までお願ひします。

編集後記

新型オミクロン株の第6波の猛威は未だ収まらず、3月1日現在、奈良県は人口10万人当たりの新型コロナ感染者数は464人、東京、大阪、神奈川に次いで全国第4位と云う猛威を振るい、医療の崩壊が危惧される状況で、1月29日に予定されていた同盟奈良県本部総会が延期され、2月15日の定例役員会会場の県教育会館も閉鎖され、急遽会場の変更を余儀なくされました。

このような状況のなかで、治安維持法国賠同盟中央本部増本一彦会長が2月6日、持病のため、お亡くなりになりました。増本会長は、お亡くなりになる1週間前の1月30日の三役会議に3月から6月の第40回全国大会までに会員2万人同盟建設をめざす、会員拡大の「特別期間」を提起する渾身のメッセージを送られました。

私たち県同盟も、この増本会長の遺志を引きついで、この「特別期間」の会員拡大には県本部と支部役員会で充分な意思統一を勝ち取り、目標まであと100名の会員拡大の活動に全力を挙げようではありませんか。

そのため、映画「わが青春尽きるとも一伊藤千代子」の映画製作、上映運動を革新懇、平和委員会、演劇鑑賞会、映画サークル、新婦人、民商、民医連、奈労連、日本共産党などの友好団体と共同しあって成功させ、上映債権の応募に併せて、鑑賞上映券の購入者全員に「同盟入会のおさそい」の活動を進めようではありませんか。